2020年1月14日			
差枚	-1500枚 -6250発	RANK	C

実戦機種

政宗2、SLOT魔法少女まどか☆マギカ2、パチスロ北斗の拳 新伝説創造
CRF.機動戦士Zガンダム

実戦レポート

「今日こそエウレカ3打てるか？」→「ダメだ～、抽選悪かったー！」の流れが定番となりつつある最近の実戦。この日も「34番」という後ろから数えた方が早い番号を引き、エウレカどころか再導入機種も諦めるところからスタートとなった。ここ1ヵ月がエウレカの新台期間なのに、このままだと北斗天昇の時と同じで、またほとんど打てずに終わっちまうぜ…。

んで入店すると、入ってすぐのけっこう目立つ位置に再導入された「政宗2」が、予想外に空いている⁉　反射的に確保して実戦スタートとなった。この政宗2、別のお店で昨年の9月にやはり再導入されたタイミングで攻めたら、見事に設定6で確定画面も出しつつ、ARTが全く伸びず-1300枚という屈辱の敗北を喫したことを、オレはまだ根に持っているのだ。あの時に出し損ねた万枚を、今日こそ返してもらおうじゃねぇか！　…と威勢よく打ち出したはいいものの、このシマにもし高設定が入るとしたら、全台系である可能性が高い。もちろん末尾の当りや単品の可能性もあるが、それを期待して自分の台だけを信じて突っ込めるほど、オレには政宗2の経験も思い入れもまだ無い。そして、開店から1時間弱経過した時点での、政宗2のシマの様子は…全台系、では無いな！　早すぎる見切りとも言えるが、結果的にはこれは正解。政宗2は全台系ではなく、当りの末尾も含まれていなかった。

そこからまどマギ2の空き台を少し触り、ARTを引いて若干の持ちメダルを作るも「なんか違うな」と移動した先は、お久しぶりな「パチスロ北斗の拳 新伝説創造」。世間からはあまり人気の無い台だがオレはかなり好きで、実戦の経験値もかなり培っていると自負できる。そんなオレの経験が言っている。「この台、めちゃくちゃ高設定っぽいぜ！」と。目に見える小役確率も多少の設定差はあるが、それ以上に初当り・設定差において重要なのが、弱レア役からのモード移行率である。この台は、弱レア役から次々と初当りを引くのだ。そして宿命の刻の突破率も高い。自力で通しているのか、宿命カウンタで少なめの回数を選ばれているのかは分らんが、とにかく激闘乱舞に入りまくるのだ。その突入率、実に7分の4！　基本的には「従来シリーズより初当りは軽いが、なかなか激闘乱舞まで到達しづらい」という仕組みなので、この突入率は驚異的と言っていい。なのに…メダルが出ん！！　理由は単純、激闘乱舞の連チャンが全く伸びないのだ。最低でも66%のループ率を有し、消化中に継続ストックを獲得することもあるARTで、4回分の連チャン数が4、1、1、1…なんと平均2連以下である。この驚異的な持続力の無さにより、逆に投資ボタンの高ループ状態が発生。結局、「高設定っぽいけど…」と思いながら手放すことになり、パチンコでも傷を広げて問答無用のC（死）級です。ひでぶ。